

2003 年度 委員会活動成果報告

(04 年 3 月 3 日作成)

委員会名	山留め特殊設計検討小委員会	主 査 名：丸岡 正夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)	委員長名：西川 孝夫 主 査 名：室田 達郎
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	2002 年度に刊行した「山留め設計施工指針」で記述できなかった課題を抽出し、課題に関する文献・データの収集と検討により課題解決の考え方をとりまとめる。本委員会で検討する課題の大項目は以下の通り。 山留めの荷重と抵抗 山留め架構の計画と設計 近接施工の影響評価と対策 地下水対策	
委員構成 (委員名(所属))	主査：丸岡正夫(榊竹中工務店) 幹事：桂 豊 (清水建設株) 委員：青木雅路(榊竹中工務店) 石井雄輔(榊大林組) 石井善一(大成建設株) 石川 明(清水建設株) 伊勢本昇昭(戸田建設株) 大西靖和(エルメス計測工業株) 佐藤英二(榊竹中工務店) 田中俊平(鹿島建設株) 野田和政(前田建設株) 宮崎祐助(広島工業大学) 三宅紀治(清水建設株)	
設置 WG (WG 名：目的)	山留めの荷重と抵抗WG：荷重(土圧・水圧)と受働抵抗の検討 山留め架構の計画と設計WG：山留め架構の計画と設計法の検討 近接施工の影響評価と対策WG：周辺への影響予測法、計測方法と計測精度、および周辺構造物の許容値と管理値の検討 地下水対策WG：透水性の調査方法と精度および地下水に起因する諸問題検討	
2003 年度予算	177,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 6 回(4 月 25 日、13 名) 第 7 回 WG 合同委員会(7 月 11 日、25 名) 第 8 回(9 月 19 日、11 名) 第 9 回(10 月 31 日、6 名) 第 10 回 WG 合同委員会 (12 月 19 日、26 名) 第 11 回(3 月 26 日予定)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) ・課題の抽出と分類を行い、上記 4 WG の設置、検討課題の絞り込み、活動方針、実施計画を作成した(2002 年度) ・課題の検討に必要な文献と実測データの収集・整理、課題に対するアンケート、ヒヤリングの実施、電子化によるデータの共有化を行った。これらを基に検討と討議を実施した。委員会活動報告書(目次案)を作成し、各 WG 毎にそれに従った活動を実施した(2003 年度)。 山留めの荷重と抵抗WG(背面側側圧、掘削側の極限抵抗、背面側水圧) 山留め架構の計画と設計WG(梁・ばねモデルの検証、非対象条件山留めの設計法、切梁 ^{ノード} の評価) 近接施工の影響評価と対策WG(近接構造物の許容値と計測精度、実際の挙動と予測法) 地下水対策WG(地盤の透水性評価、盤ぶくれ評価)
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の計画に従って活動している。
その他評価すべき事項	